

## 富士山麓ぐるり湧水めぐり

富士山の自然を守る会  
富士宮市上井出1834-2  
TEL・FAX/0544-54-1822



例年、四季それぞれに公開フィールドワークを実施してきました。今年度は、今までに5回実施しました。その中の一つである「湧水めぐり」PART2を報告します。

富士山全体に1年間に降る雨は約20億tとも22億tともいわれています。このうち35%にあたる約7億7千tの水が地下水になると考えられています。地下水は湧水となって流れ出し、私たちの命と暮らしを支えています。しかし、湧水の減少や枯渇、さらには汚染という心配される事態も起こっています。富士山の自然の恵み、水という生命の源に感謝しながら、富士山麓をぐるっと一巡りし

ました。

「湧水めぐり」PART2(冬のフィールドワーク)

12月12日、富士宮地域の湧水や水道の水源地めぐりを実施。コースは富士宮市役所 - 西町湧水 - よしま池 - 淀師水門水道水源 - 大堰用水取水口 - 椿沢水道水源 - 朝日滝 - 北山用水(浄水)取水口 - 猪之頭大橋湧水 - 県営富士養鱈場 - 猪之頭保存湧水池(陣馬の滝など) - 北山浄水場 - 富士宮市役所。説明をしてくれた市職員を含め33人が参加。

富士宮市は豊かな水に恵まれていると言われています。白糸の滝、湧玉池、そして多くの湧水群を見れば、豊かな水の街と疑いません。しかし、かつては富士山麓という溶岩流と火山灰地さらには起伏のある台地という地理的条件で、水の豊かな地域と天水に頼らざるを得ない地域とに分かれていました。編み目のような用水の存在がその事実を語っています。

平成11年12月現在、給水人口は114,278人。普及率は93.1%。1人1日平均給水量419を供給。年間25億2千万円の事業費で経営されています。

富士山麓には2千数百の深井戸が掘られていると言われています。ある学者は常時地下水監視を行い全市域利用計画を早急に確立しなければならないと警告しています。

## 美しい富士山を子供たちに残すために

特定非営利活動法人 富士山クラブ  
三島市一番町10-1 TEL・FAX/0559-83-4133  
<http://www.fujisan.or.jp>



本クラブは、平成10年11月「富士山の環境保全と再生」を目標に掲げ設立し、平成11年11月特定非営利活動法人の認証を受け「特定非営利活動法人富士山クラブ」として設立されました。平成12年からは本格的に様々な事業を展開していきませんが、これまでの事業経過及びこれからの事業予定の主な内容としては次のとおりです。

### ネットワーク事業

富士山の環境問題に取り組んでいるボランティア団体、個人への助成金の支援活動を平成12年2月より募集を開

始します。また、「全国おらが富士ネットワーク会議」の結成に向け資料収集等準備します。

### 基金運営事業

平成11年4月に「富士山水と緑の育水基金」を設立し、広く募金箱を配布し、協力をお願いします。

### 環境保全実践事業

平成11年8月、富士山五合目等、数カ所で清掃活動をしました。約400名の参加がありました。11月には、どんぐりや稚樹を探し、それらを持ち帰って育て、また富士山にもどそうという里親ツアーを実施しました。この企画は平成12年3月にも予定しています。また、森づくりインストラクターの養成講座を平成12年1月より実施します。

### 啓蒙事業

エコツアー・シンポジウム等で、富士山の取り巻く厳しい現状について理解していただくと共に、諸活動への参加の呼びかけをしています。

本クラブは「美しい富士山を子供たちに残していくために...」をスローガンに、このような活動を諸団体とネットワークを組んで推進していきたいと考えております。

## 日本一のかえでの里作りに着手

富士宮ライオンズクラブ  
富士宮市朝日町12-18  
TEL/0544-24-3174 FAX/0544-23-5801



富士宮ライオンズクラブは結成35周年を記念し、12月19日に富士宮市根原地先に「日本一のかえでの里作り」のための植栽作業を行いました。クラブメンバーとその家族、一般公募に賛同してくれた人など、神奈川県、静岡県、静岡県各地から参加してくれた150人あまりの人々によって2~3メートルのかえでの苗木500本が植えられました。

富士宮ライオンズクラブは1999年、「地球環境に関する宣言」を起草採択しており、本事業はその精神の一環として、地球に緑をとという運動の一つの表現として着手したものです。

また、新聞広告などを通して広く内外の人々に呼びかけたところ、結婚記念、誕生記念、還暦の祝などの記念植樹として、多くの方から「かえで」や富士山麓に自生する種類の木々が大量に寄付されました。

19日の植栽には、芝川町長をはじめ富士宮市青少年連絡協議会や富士山自然の森づくりの会等、各種の団体に参加いただき、子供たちといっしょに苗木を植えることができました。植栽を行った場所は、富士宮市、芝川町が所有する3万2050平方メートルの草原で、将来的には約3倍の面積に広がる予定です。今回の植栽では500本のか

えでの他に、樹齢20年を越える大木150本がプロの職人によって植えられ、将来の森の姿の一端が、雄大な富士山をバックに出現しました。クラブでは、この事業を数年の長期にわたる事業として継続し、名実ともに日本一の「かえでの里」とするよう努力していく所存です。

また、この事業は継続しています。植栽に関心のある方はクラブ事務所までお知らせください。皆様の御協力をお待ちしております。

## 身近な環境から、まちづくりに挑戦中

ふじ環境倶楽部  
富士市増川119-1 TEL/0545-38-0088 FAX/0545-39-0057  
E-mail / [adism@lilac.ocn.ne.jp](mailto:adism@lilac.ocn.ne.jp)



10月24日(日)汗ばむような秋晴れの下、「'99田宿川ワークショップ」を開催しました。参加者は小学生110名を含む計172名。これまでで最大規模のワークショップとなりました。

午前中は、地元の方々に昔の田宿川の様子や、現在行っている川掃除やたらい流しのお話をうかがいながら、本國寺前の始点から、日産グラウンド北側の親水護岸までウォッチングを行いました。

昼休みに開催した、田宿川カヌー体験では、ちゃっかりと「僕、4回も乗ったよ」という子供もでるほどの大盛況。A-1スポーツプラザの皆さん、ご協力ありがとうございました。

午後は公民館でグループに分かれて点検地図を作りました。子供達からは「水が深くて遊ぶのが怖い」というように大人では気付かなかつたり、「僕は田宿川を守る人になりたい」と感謝、感激するような意見がたくさん出ました。

今回のワークショップをきっかけに、これからも地元今泉地区の皆さんや「湧き水」「地下水」とともに暮らす市民、企業、行政の方々といっしょになって、富士市の財産であるこの田宿川を守り、育み、生かしていくことができたらいいなと思います。